

議案101号平成19年度南相馬市一般会計歳入歳出決算認定について

【総括質疑】 合併効果を発揮するため、行政コストの削減を図るといふことであつたが、今回の決算では必ずしも明確なプラスでないことについて伺う。

【答弁】 コスト削減の大きな要因は人件費であるが、10年間で25%削減の目標計画を上回つておるものの、予想外の退職者や職員給与の在職者調整などの要素が加わり、人件費は思うようにいっていません。21年度からは確実に低減するものと捉えております。

【質疑】 実質年度収支が3億9千500万の赤字の内容で、財政調整基金が減つていく。これは、一般的な財源不足の穴埋めではないのか。

【答弁】 合併当初で市民の方々が、合併して良かったと思えるまちづくりの事業展開が主な要因となつており、各自治区の特徴ある施策のため有効に活用している。

【歳入での質疑】 収入未済額が、市税の合計で7億6千600万円になつていくが内容は、【答弁】 滞納が毎年増加傾向にあるのが大きな要因だが、税源移譲によつて所得税が上

がつたこともあり、経済情勢に大きく左右され、所得の伸び悩みや雇用状況が思わしくないことなども影響している。

【質疑】 火力発電所の償却資産税は、減額方向にあるが。【答弁】 火災関係で、毎年2億弱と減額になつていく。タービン関係が一番大きい償却となるが、15年位で更新もある。更新時にはある程度上がつてくるものと思われ。

【歳出での質疑】 総務管理費が全体で8億5千900万も増えている。行政改革の中でどのように理解すれば良いのか。【答弁】 基金積立金が多くなつていくことや、超高速インターネット事業を19年度も行ったことが大きな要因です。

【質疑】 19年度決算で、合併前の自治体で行つていた福祉サービスで新たな事業は何か。【答弁】 心身障がい者扶養共済制度掛金助成事業を全市に拡充、重度障がい者タクシー運賃の助成、特定疾患者見舞金給付事業、身体障がい者訪問入浴サービス、障がい者のための小規模作業所の機能強化などが挙げられます。

【質疑】 児童福祉費で、18年度は3億7千万の伸び、19年度は実質820万の増額だが中味は何か。【答弁】 男女共同子ども課として、すこやか子育て支援、保育園の第2子無料化他、保育園の保育料金値下げなどです。

【質疑】 公債費が、18年度決算と比較して19年度は5億円の支出増になつていく主要な要因は何か。【答弁】 合併特例債の元金償還が開始したこと、公債費は今後、実質公債費比率を18%未満を目標に維持して行きたい。

【質疑】 実質単年度収支で、3億9千500万円の赤字である。財政調整基金が、3億7千万円の減少。各自治体振興基金が、合計2億3千379万円の取り崩しは財源不足による事業展開である。また、道の駅の収支決算、高すぎる信田沢の工業用地、環状1号線道路の機能の点、図書館建設での建築基準法に対する判断の誤りなどを指摘し、本決算は不認定すべきとの討論。また、反対はあるが道の駅建設は議会多数での議決であり、これは市民の意思だと捉え、これを有効活用することが大事である。信田沢の工業用地は、今南相馬市に工業団地がない時、市民の

【質疑】 19年度は、最終的に1億円の黒字ということ、基金積立と合わせれば1億8千万円になり、保険料を高くし過ぎたのではないのか。【答弁】 20年度への繰越金が9千900万円で、19年度の積立では18年からの繰越し分である。また保険料の算定は、3年間の給付見込みで行つていく。

【質疑】 横河エレクトロ跡地は、当時適切な取得であつたが、その後の整備は目的に添つた形で進められたのか。【答弁】 横河エレクトロが市に売りたい意向のもと、都市計画の中、防災機能を持つ都市公園とした。更に道の駅の計画と高見町交差点改良にも利用され、道の駅の進入路ともなるが、基本的には公園の進入路という考えでの計画です。

【討論】 取得した経緯は、道の駅のための公園整備をするとの本来の趣旨から外れず、優先性・緊急性をもって進めることの意味を付し認定とする。採決の結果、平成19年度一般会計及び特別会計決算は、原案通り認定。

立場から雇用創出を『乞ひ願う』ものであり、カンフル剤として進めなければならぬ。土地の価格は、不動産鑑定士によるものであり妥当である。今後有効活用することを望み19年度決算は認定すべきとの討論。

採決の結果、原案の通り認定。議案第104号南相馬市介護保険特別会計で決算認定について

【質疑】 19年度は、最終的に1億円の黒字ということ、基金積立と合わせれば1億8千万円になり、保険料を高くし過ぎたのではないのか。【答弁】 20年度への繰越金が9千900万円で、19年度の積立では18年からの繰越し分である。また保険料の算定は、3年間の給付見込みで行つていく。

【質疑】 横河エレクトロ跡地は、当時適切な取得であつたが、その後の整備は目的に添つた形で進められたのか。【答弁】 横河エレクトロが市に売りたい意向のもと、都市計画の中、防災機能を持つ都市公園とした。更に道の駅の計画と高見町交差点改良にも利用され、道の駅の進入路ともなるが、基本的には公園の進入路という考えでの計画です。

【討論】 取得した経緯は、道の駅のための公園整備をするとの本来の趣旨から外れず、優先性・緊急性をもって進めることの意味を付し認定とする。採決の結果、平成19年度一般会計及び特別会計決算は、原案通り認定。



▲工事が進む図書館建設



渡部 寛一 議員

子育て支援の南相馬市に

【問】 南相馬市の子ども医療費助成制度は、小学校に入る前までにとどまっております。県内最低レベルです。今や県内59市町村中31市町村が小中学生の医療費を無料にしています。医療費無料化の対象を中学校卒業まで、当面せめて小学校卒業まで緊急に引上げるべきです。

【答】 総合的に本市子育て支援策を検討中です。

【問】 遅れている市と言わざるを得ない。国民健康保険への国庫負担がどんどん減らされ、その分国保税が上つていきます。国保税を払えなくて、一年間滞納すると保険証が取り上げられます。子どものいる世帯でも保険証が取り上げられており

【答】 遅やかに検討して、方針を決定したい。

【問】 医師にかかれぬ事態になつていきます。05年厚労省通知で「子ども医療費を助成している年令は、保険証を取り上げるな」としている。本市では通知が生かされていない。まして、子供に税滞納の責任はない。速やかに改善をすべし。



▲おだか保育園



郡 俊彦 議員

合併理念の実現に向けて

【問】 市民が主役となつたまちづくり活動の推進の為に、地域のまちづくり委員会をスタートさせ財政的支援を行っている。期待を持っていて、一過性のものではないために、値打ちと意義をどう捉えているか伺う。自治基本条例との関係はどうか。

【答】 まちづくり委員会が市内全地域に設置され、市民主体のまちづくりが進むことにより、基本条例の目的である「自ら考え行動する市民主体のまちづくり」が実現される。

【問】 合併の理念との関わりはどうか。【答】 合併の理念である「地域の主体性を尊重し、地域の特性を残し、生かし、伸ばし、補完し合い、貢献し合う地域分権に基づく地域自治」に欠



▲まちづくり委員会

【問】 前の議会で、新市建設計画見直しの問題点を整理して、9月議会まで提示するという答弁を頂いていたが。【答】 まだお示しできない状況にあるが、どの事業が必要なのか見極めたい事で作業に手間取つている。早い時期に示したい。

集中豪雨対策について



小林 正幸 議員

【問】 現在、日本各地で予測も少ない集中豪雨で死者も多大な被害を受けている。現在は、南相馬市でも自主防災組織ができていくもの、主に地震に対する対策がとられているが、集中豪雨など自然災害に備えるべき避難、誘導の対策について伺う。



▲秋季消防検閲式

【問】 集中豪雨に対して、高齢者世帯や障害者など、災害弱者の避難・誘導の確認が必要

【答】 災害が発生した場合、高齢者世帯や障害者の安否の確認及び迅速な避難誘導を行うため、地域の自主防災組織や消防団、民生委員、民生児童委員等の活動と協力が大変重要になつていく。そのため、地域での自主防災訓練などを通じて、災害弱者の皆さんの情報を地域で共有化して対応していく。